

QUARTERLY REPORT OF JAPAN HEART FOUNDATION

No.236

# 心臓財団 季報

SEP.10, 2019



公益財団法人  
日本心臓財団

〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル4階  
 ●Tel 03-5324-0810 ●Fax 03-5324-0822  
 ●e-mail : info@jhfr.or.jp ●URL : https://www.jhfr.or.jp

## 2019年 健康ハートの日

～皆様からのご支援で今年も盛況に開催することができました～

日本心臓財団では8月10日が810(ハート)と読めることから、1985年にこの日を「健康ハートの日」と定め、この日を中心に各地で心臓病の予防啓発活動を行っています。

今年は東京では8月4日(日)、金沢、岐阜では8月10日(土)、豊橋、名古屋、京都では8月11日(日)に開催されました。

各地のイベントの様子を、写真とともに紹介します。

### 健康ハートの日 2019 (東京)

東京では、日本心臓財団と日本循環器学会共催、日本高血圧学会、オムロンヘルスケア(株)、フクダ電子(株)、カリフォルニアくるみ協会の協力を得て開催されました。

今年は、JR東京駅丸の内北口近くの丸の内オアゾ1階OO(おお)広場にて開催いたしました。

いつもの財団事務局員、学会事務局員、循環器専門医(上松瀬勝男先生、杉本恒明先生、羽田勝征先生、細田瑳一先生)、管理栄養士の方々に加え、日本高血圧学会の協力により高血圧・循環器予防療養指導士の方々にも来ていただき、血圧、体脂肪、家庭用心電図、動脈硬化度測定、栄養相談、医療相談、胸骨圧迫とAED講習、動く心臓模型(ハートナビ)展示を行いました。

また、禁煙推進キャラクターのすわん君や減塩啓発キャラクターの良塩くんなども登場して、会場を賑わせてくれました。



### 杉本恒明先生(日本心臓財団顧問)のご感想

8月10日は語呂合わせでハートの日と読む。今年、令和元年は8月4日(日)が前倒しの日本心臓財団健康ハートの日イベントであった。本年の会場は丸の内オアゾ1階の〇〇広場だった。ビルの中なので、冷房が効いていて有難かった。いつもの学会事務局、協賛各社のスタッフ、診療技師、栄養士の皆さんに加えて、いつもの仲間の医師が来てくれていた。

来場者は毎年のお馴染みさんが多くきてくれていた。通りがかりの方たちというと、これまでの新宿、それに続いた池袋でみられたような遅い子どもたちを含む物見高さ、圧倒されるような迫力というよりも、洗練された都会の瀟洒な雰囲気があったように思った。

ゆるキャラ君たちはここでも人気の的だった。日本循環器学会から禁煙推進キャラのすわん君とお友だちの銀ぎつね(ちょこ太郎)、日本高血圧学会からも減塩啓発キャラの良塩(よしお)くんがきてくれていた。

AED体験コーナーの脇では、例年のように心臓模型(ハート・ナビ)のデモがあった。ここでしかみられない貴重なデモである。栄養相談の机は待合スペースの真ん中においては如何なのだろうか、医師の健康相談と横並びの端っこでは勿体ない、と思った。

今年も注目の的は血管年齢だった。今年の血管年齢は不思議に実年齢よりも若い人たちが多かった。83歳の男性が60歳代

の血管年齢という数値をもってやってきた。講釈していたら、私の年齢を問われて、この人よりも年長と答えたら、驚いてくださった。今一人の高齢の女性も私の年齢を問うて、その年齢でお仕事ができるのは素晴らしい、といってくださいました。

若い女性が血圧に左右差があり、動脈血行に問題があるとコメントされて心配して相談にきた。利き腕では高くなると思ったら、逆の血圧差だという。もう一度、測り直してみようと測定場所まで連れて行ったら、そのまま戻ってこなかった。後で聞いたら、測り直したら左右差がなかったのだという。高安病か、と勢い込んだのだが、がっかりした。

そろそろ、終わりと思っていたら、すわん君との対談です、とマイクを突きつけられた。健康保持の秘訣を語れ、という。歩くこと、それだけでこの年齢まで元気なのだ、としゃべったら、今のは練習、といわれてまた、同じことを繰り返させられた。すわん君との対談であったことの意味を忘れていたのに気づいたのはずっと後になってだった。すわん君、ご免なさい。禁煙が第一に大事なのです。

今年も私には実に楽しい一日だった。まだまだ、人様の役に立つ、そして喜ばれる、それを肌で知ったように思えて、嬉しかった。

暑い中、参加、協力いただいた方々には厚くお礼を申し上げたい。



杉本恒明先生

## 金沢 ハートの日 2019 (ホテル金沢)

血管年齢や頸動脈エコー検査、血管形成術体験や心肺蘇生講習、医療相談や栄養相談などが行われ、寺井英伸先生(金沢循環器病院)による「新しい弁膜症の治療法」、堀田祐紀先生(金沢循環器病院)による「狭心症・心筋

梗塞について」の講演がありました。また、婆ちゃんコントで知られるゲストの御供田幸子さん(花幸会)による特別講演とコントも行われました。来場者数は約500名でした。



## 第11回ハートの日 in 岐阜 (じゅうろくプラザ)

今年のキーワードは「心不全」。ハート講演会では川村一太先生(岐阜ハートセンター)より「心不全ってどんな病気?」という講演と患者さんの体験談、心不全チームによる座談会が行われました。こども体験学習会ではこども向けのわかりやすい講演と体験型ワークショップ

プ、心臓手術体験や調剤、リハビリ介護体験などが行われました。また、運動教室や栄養教室も行われました。来場者数は約700名でした。



## 第20回「8月10日はハートの日」豊橋（ロワジールホテル豊橋）

今年のテーマは「家族みんなで健康テーマパークに行こう!」。第一部では、あたま・心臓・手足・お腹の4つのゾーンに分かれ、脳トレ、心音クイズなどゲーム感覚での学びや、脳年齢、血管年齢検査、InBody測定、手術体験や調剤体験、栄養相談、医療相談などさまざま

なブースが設置されました。また、第二部では鎌田實先生(諏訪中央病院)による『「生きているって素晴らしい」～命・健康・子供・絆を考える～』をテーマにした講演が行われました。来場者数は約1,500名でした。



## 第11回ハートの日 in 名古屋（今池ガスビル）

今年のメインテーマは「快腸から健康長寿! 腸内細菌ってなあに?～腸から動脈硬化を予防する～」。

講演会では外山淳治先生(名古屋ハートセンター)より「老いの生き方～日本百名山、巡礼の旅」、岩淵紀介先生(森永乳業)より「腸内細菌ってなあに!」、山下智也先生(神

戸大学)より「腸内細菌から心臓病・生活習慣病を考える」のご講演がありました。そのほか健康チェックと医療相談、栄養教室、病院のお仕事体験などが行われました。来場者はのべ約1,100名でした。



## 第6回京都ハートの日（メルパルク京都）

今井優健康運動指導士(康生会クリニック)の「これからの心臓リハビリテーションについて」、財木恵管理栄養士(武田病院)の「ハートにやさしい食事」、木下法之先生(武田病院)から心不全について、梶田出先生(武

田病院)から血圧管理についてのご講演があり、その後シンポジウムが行われて、会場からのさまざまな質問に回答しました。来場者数は約150名でした。



## 全国で PUSH !

日本では、毎年、7万人の方が心臓突然死で亡くなっています。日本心臓財団が支援し大阪ライフサポート協会が中心となって実施しているPUSHプロジェクトでは、胸骨圧迫(心臓マッサージ)とAEDの使用法を短時間で学ぶことのできる PUSHコースの普及によって、突然心停止となってしまった方の救命率を向上させ、より多くの



東京

いのちを救うことを目標にしています。PUSHプロジェクト、そして心肺蘇生を学ぶことの重要性を広く知っていただくために、健康ハートの日周辺で、各地の協力団体などと連携して全国一斉に講習会を実施しています。

今年も、新潟、長野、東京、千葉、茨城、愛知、大阪、広島をはじめ全国各地で実施されました。



広島

## 小さなハートをつなぐ PUSH 講習

日本心臓財団では、心臓病のお子さんをご家族を支援することを目的としたご寄附(小さなハートをつなぐ基金)を受け付けており、毎年多くのご寄附が寄せられています。

本年より、その資金を活用し、心臓病のお子さんをご家族の団体である「全国心臓病の子どもを守る会」の全国の希望する支部で、胸骨圧迫(心臓マッサージ)とAEDの使用法をアニメとキットを使用して短時間で学ぶことのできる PUSHコースを実施することにいたしました。



岡山支部

また、守る会本部にAEDを1台寄贈し、PUSHコースのアニメに登場するボジョレー君のイラストの入った缶バッジを制作し、講習を受けたお子さんたちに配布することにしています。

8月25日(日)に岡山支部で第1回を実施し、約80名の参加者で講習会を行いました。参加したお子さんたちも胸骨圧迫やAEDの必要性がわかったとのことで、学校のどこに置いてあるのか、家で起きたらどこにAEDが設置してあるのか確認すると言ってくれました。

今後も東京や福井、横浜などで開催する予定です。



本部のAEDと缶バッジ

## 第24回日本不整脈心電学会学術奨励賞

2019年7月25日、パシフィコ横浜にて、第66回日本不整脈心電学会学術大会(会長:小林義典・東海大学教授、村川裕二・帝京大学教授)が開催され、期間中に日本心臓財団が後援する第24回学術奨励賞の贈呈が行われました。

これは日本不整脈心電学会の会員であり、不整脈・心電学の進歩に寄与する顕著な研究を発表し、将来発展の期待される40歳未満の研究者に贈られるものです。

受賞者は以下のとおりでした。

### 臨床

**最優秀賞** 岡 英一郎 日本医科大学循環器内科  
**優秀賞** Ahmed Talib Najaf center for Cardiac Surgery and Trans-Catheter Therapy

### 基礎

**最優秀賞** 安部 一太郎 大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学講座  
**優秀賞** Yimin Wuriyanghai 京都大学医学部附属病院循環器内科

## 令和元年度(2019年度)日本心臓財団研究奨励事業 募集要項

心臓血管病(心臓病、脳卒中、高血圧、動脈硬化症等)の成因、治療あるいは予防に関する独創的研究に対し実施します。

### 1. 研究奨励金および応募資格

#### (1) A 第45回日本心臓財団研究奨励

1件200万円を10件。

わが国に在住し、心臓血管病の基礎、臨床または予防に携わる40歳未満の研究者(1979年4月1日以降に生まれた者)。

#### B 第10回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励

1件100万円を3件。

Aの応募対象者のうち基礎研究室に所属する研究者。

#### C 第10回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励

100万円を1件。

Aの応募対象者のうち女性研究者。

#### (2) 第7回日本心臓財団拡張型心筋症治療開発研究助成(ほのかちゃん基金)

1件200万円を2件。

わが国に在住し、拡張型心筋症の基礎、臨床または予防に携わる研究者。

なお、応募はひとり1件に限ります。研究奨励金を受けた者は、同一の研究奨励に再度応募できません。

### 2. 応募方法

- (1) 所定の応募用紙(当財団ホームページよりダウンロードして下さい)に必要事項を記入し、推薦者の記名、捺印の上、日本心臓財団あてにコピー5部を添えて送付して下さい。このほかに同じもの(捺印不要)をメールでshinsei@jhf.or.jpへお送り下さい。前項(1)と(2)は応募用紙は異なります。応募者はいずれかを選択し、ご応募下さい。

なお、応募書類は返却いたしません。

- (2) 推薦者は、応募者の所属する部署(教室、講座、医局、診療科等)の直属の長とします。推薦者は複数の応募者の推薦をしても結構です。ただし本件の選考委員は推薦者になりません。

### 3. 応募期間

2019年9月1日～10月15日(消印有効)

### 4. 選考方法および発表

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定します。

2020年3月中旬に選考結果を発表するとともに決定者に対して奨励金を交付します。

### 5. 助成対象者の公表

助成対象者の氏名、年齢、所属、研究課題を当財団機関紙、ホームページ等に公表します。

### 6. 研究成果の報告

研究終了時に400字詰め原稿用紙2枚程度の研究報告書(抄録)および収支報告書を提出して下さい。報告書の提出期限は、2021年6月末とします。研究報告書は、当財団発行の月刊誌『心臓』に掲載されます。

なお、研究成果を論文として発表する際は「日本心臓財団研究奨励による」(英名の場合にはJapan Heart Foundation Research Grant)、「日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励による」(英名の場合にはJapan Heart Foundation Dr. Hiroshi Irisawa & Dr. Aya Irisawa Memorial Research Grant)あるいは「日本心臓財団拡張型心筋症治療開発研究助成による」(英名の場合にはJapan Heart Foundation Research Grant on Dilated Cardiomyopathy)旨を書き添え、別刷2部をお送り下さい。

## 日本心臓財団・バイエル薬品 第33回海外留学助成募集要項

日本心臓財団では日本循環器学会の後援のもとにバイエル薬品株式会社の協力を得て、循環器領域の少壮研究者が海外の研究機関等に留学し、独創性のある研究や萌芽的な研究を行う場合の渡航費並びに滞在費の一部を補助するために海外留学助成を実施します。

### 1. 助成対象

心臓病・脳卒中・高血圧・動脈硬化症等の循環器領域の研究に携わる研究者

### 2. 助成額

1件300万円とし原則として10件

### 3. 応募資格

次の事項のすべてに適合する者

- 1) 初めての海外留学であること
- 2) 40歳未満(1980年4月1日以降生まれ)で日本在住であること
- 3) 1年以上留学し、帰国後日本の学術振興に寄与すること
- 4) 留学先研究機関の責任者または受入者の承諾を得ていること
- 5) 一定の研究業績を有すること
- 6) 2020年4月1日～2021年3月31日の間に出発の予定であること

なお、選考決定後、留学前に留学先を変更した場合や期間内に出発の予定が決まらない場合は、取消すこともあります。

### 4. 応募方法

所定の用紙(当財団ホームページよりダウンロードして下さい)に必要事項を記入し、推薦者の記名・捺印の上、オリジナル1部と写し7部、計8部を当財団あて送付して下さい。応募の際には、受入先の承諾書または受入に関する主な往復文書・メール等を8部にそれぞれ添付して下さい。応募時に承諾書がない場合は12月20日までに送付して下さい。(受入先より承諾書に留学期間中の給与支給の有無および支給額を記載してもらうこと。)このほかに同じ申請書(捺印不要)をshinsei@jhf.or.jpへ送付して下さい。なお、申請書類は返却いたしません。

### 5. 推薦者

大学においては応募者の所属する教授、その他の機関においては所属長とします。推薦者は複数の推薦はできません。なお、本件の選考委員は推薦者になれません。

### 6. 応募期間

2019年10月1日～11月30日(消印有効)

### 7. 選考方法および発表

当財団海外留学助成選考委員会において選考し、理事会で決定します。

2020年2月下旬に選考結果を発表の予定です。

助成対象者には2020年3月下旬に贈呈式を予定しています。

### 8. 他の助成機関への申請

他の民間財団、日本学術振興会およびヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム等国内の他の機関に助成申請している場合、また今後申請を予定している場合は、その旨を記入して下さい。当財団としては、他の留学助成とは重複して授与しません。他の機関の助成を受諾されたときは、速やかに当財団に連絡して下さい。

なお、他の機関に助成申請していても採点には影響しないので正確に記入して下さい。

### 9. 助成対象者の公表

助成対象者の氏名、年齢、所属、研究課題、留学先名を当財団機関紙、ホームページ等に公表します。

### 10. 成果の報告

留学帰国後、本助成による研究成果に関する報告書を当財団に提出して下さい。

研究の発表には「日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成による」(英名の場合にはJapan Heart Foundation / Bayer Yakuhin Research Grant Abroad)旨を添え書きして下さい。

### 問い合わせ先および応募書提出先はいずれも

公益財団法人 日本心臓財団

〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル4階

電話(03)5324-0810 FAX(03)5324-0822

e-mail: shinsei@jhf.or.jp https://www.jhf.or.jp/

## 第47回日本救急医学会総会・学術集会 市民公開講座 みんなでPUSH! AEDと胸骨圧迫を学ぼう!

10月2～4日まで東京国際フォーラムで開催される第47回日本救急医学会総会・学術集会において、市民公開講座「みんなでPUSH! AEDと胸骨圧迫を学ぼう!」が開催されます。

### ●トークショー:みんなで救おう!

AEDと心臓突然死

**ゲスト:** 蝶野正洋(元プロレスラー/日本AED財団大使)

**ホスト:** 武田 聡(慈恵医科大学救急医学講座教授)

**日時:** 2019年10月4日 18:00～19:00(受付は30分前)

**場所:** 第7会場(東京国際フォーラム Dブロック5F ホールD5)

**定員:** 200人

**参加費:** 無料(事前申込)

※詳細は学会ホームページをご参照ください。席に余裕があまりししたら当日も受け付けます。



### ●常設ブース

**日時:** 2019年10月2日(水)、3日(木)、4日(金)  
連日 11:00～17:00

**場所:** 東京国際フォーラム地上広場D(雨天の場合は地下1Fのロビーギャラリー)

**定員:** なし

**参加費:** 無料

### ブース内容

- 1: PUSHコース体験と胸骨圧迫レース
- 2: 心止村湯けむり事件簿体験
- 3: AEDを探せ! AED N@VI登録体験
- 4: 本物のAEDを触ってみよう! AED体験コーナー

**主催:** 日本救急医学会

**共催:** 日本AED財団

**後援:** 日本心臓財団、大阪ライフサポート協会

## 市民公開講座 Take ABI & Echo 2019 日本心・血管病予防会 10周年記念講演会 ここまで進んだ血管病治療

**日時:** 2019年10月12日(土) 14:00～16:00

**会場:** 京王プラザホテル南館4階「扇」の間

**参加費:** 無料

**座長:** 重松 宏(都庁前血管外科・循環器内科院長)

### 講演

#### 下肢閉塞性動脈硬化症の血管内治療

重松 邦広(国際医療福祉大学三田病院血管外科教授)

#### 閉塞性動脈疾患に対する遺伝子治療・薬物治療

宮田 哲郎(山王メディカルセンター血管病センター長・教授)

#### 大動脈瘤に対する血管内治療

小櫃由樹生(国際医療福祉大学三田病院血管外科教授)

#### 下肢静脈瘤に対するレーザ治療

井上 芳徳(てとあしの血管クリニック院長)

**主催:** 日本心・血管予防学会

**共催:** 日本脈管学会、日本心臓財団

## 2019年 AC ジャパン支援キャンペーン 「まごまごするより、まず検診。」

日本心臓財団では、昨年に続き、今年もACジャパンの支援による、高齢者の心臓弁膜症の早期発見をテーマにしたテレビCM、ラジオCM、新聞広告、ポスターの配布を行っています。7月からオンエアされていますので、テレビCMで見かけた方も多いかと思いますが、今回は岸部一徳さんのユーモラスな演技で、弁膜症の初期症状を現しています。本号ではポスターを同封いたしました。

その息切れ、疲れやすさ、  
「心臓弁膜症」かもしれません。

ACジャパンは、全国の1,000を超える民間の企業と団体がひとつになって、  
広告を通して社会にメッセージを届け続ける社会貢献活動です。

ACジャパンは、  
この活動を支援しています。 JAPAN

公益財団法人 ACジャパン 〒108-0065 東京都港区赤坂2-4-17 赤坂ビル5F TEL:03-3577-9195  
●www.acjapan.jp

公益財団法人 日本心臓財団

## 教室(医局)・病院(医院)・医師会賛助会員の皆様

日本心臓財団と日本循環器学会が共同発行している月刊誌「心臓」の発行と当財団の運営を支えていただいている賛助会員の皆様を感謝の意を表して掲載させていただきます。

### 教室(医局) 賛助会員

北海道大学循環器内科	東京医科歯科大学循環器内科	滋賀医科大学呼吸循環器内科
札幌医科大学循環器内科	慶應義塾大学循環器内科	京都大学循環器内科
弘前大学循環器腎臓内科	東京医科大学循環器内科	関西医科大学循環器内科
東北大学循環器内科	東京医科大学八王子医療センター循環器内科	奈良県立医科大学第1内科
東北医科薬科大学循環器内科	東京慈恵会医科大学循環器内科	大阪大学循環器内科
山形大学第一内科	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科	近畿大学奈良病院循環器内科
福島県立医科大学循環器内科	東京女子医科大学東医療センター心臓血管診療部	神戸大学循環器内科
筑波大学循環器内科	昭和大学藤が丘病院循環器内科	鳥取大学循環器内科
獨協医科大学心臓・血管内科	東邦大学医療センター大橋病院循環器内科	島根大学循環器内科
獨協医科大学越谷病院循環器内科	杏林大学循環器内科	広島大学循環器内科
群馬大学循環器内科	横浜市立大学循環器内科	山口大学循環器内科
千葉大学循環器内科	聖マリアンナ医科大学循環器内科	徳島大学循環器内科
埼玉医科大学国際医療センター心臓内科	北里大学循環器内科	愛媛大学循環器内科
自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科	東海大学循環器内科	高知大学老年病・循環器・神経内科
日本大学循環器内科	東海大学八王子病院循環器内科	九州大学循環器内科
駿河台日本大学病院循環器内科	新潟大学循環器内科	福岡大学心臓血管内科
帝京大学循環器内科	富山大学第二内科	福岡大学筑紫病院循環器内科
帝京大学附属溝口病院循環器内科	金沢大学循環器内科	佐賀大学循環器内科
帝京大学ちば総合医療センター循環器内科	金沢大学先進総合外科	長崎大学循環器内科
日本医科大学循環器内科	金沢医科大学循環器内科	熊本大学循環器内科
日本医科大学多摩永山病院循環器内科	信州大学循環器内科	大分大学循環器内科
日本医科大学千葉北総病院循環器内科	浜松医科大学循環器内科	宮崎大学循環器内科
東京大学循環器内科	名古屋大学循環器内科	鹿児島大学心臓血管内科
順天堂大学循環器内科	三重大学循環器内科	

### 病院(医院) 賛助会員

江別市立病院	済生会横浜市南部病院	美祢市立病院
北海道大野病院	済生会富山病院	済生会今治病院
北海道社会事業協会帯広病院	富山赤十字病院	今治第一病院
札幌中央病院	金沢医療センター	喜多医師会病院
札幌心臓血管クリニック	抱生会丸の内病院	近森会近森病院
札幌東徳洲会病院	岐阜総合医療センター	済生会福岡総合病院
旭川リハビリテーション病院	澄心会岐阜ハートセンター	杉循環器内科病院
木原循環器科内科医院	慈朋会澤田病院	原三信病院
仙台厚生病院	東海中央病院	福岡市医師会成人病センター
仙台赤十字病院	松波総合病院	福岡新水巻病院
本荘第一病院	聖隷浜松病院	福岡記念病院
三友堂病院	市立湖西病院	福岡大学西新病院
福島赤十字病院	澄心会名古屋ハートセンター	小倉記念病院
国際医療福祉大学病院	名古屋第二赤十字病院	春陽会うえむら病院
新小山市市民病院	藤田医科大学ばんだね病院	新小文字病院
茨城県立中央病院	大台厚生病院	熊本赤十字病院
常陸大宮済生会病院	永井病院	済生会熊本病院
慶友会慶友整形外科病院	伊勢赤十字病院	大分岡病院
千葉会高瀬クリニック	近江八幡市立総合医療センター	都城市郡医師会病院
田口会新橋病院	亀岡病院	青仁会池田病院
博仁会第一病院	京都桂病院	鹿児島県立北薩病院
輝城会沼田脳神経外科循環器科病院	京都第一赤十字病院循環器内科	鹿児島市医師会病院
鶴谷病院	洛西ニュータウン病院	鹿児島生協病院
北里大学メディカルセンター	毅峰会吉田病院	かりゆし会ハートライフ病院
埼玉県立循環器・呼吸器病センター	大阪府三島救命救急センター	翔南会翔南病院
さいたま市民医療センター	りんくう総合医療センター	豊見城中央病院
深谷赤十字病院	小松病院	
かわぐち心臓呼吸器病院	北播磨総合医療センター	
関越病院	神戸アドベンチスト病院	
東葛病院	三栄会ツカザキ病院	
板橋中央総合病院	高清会高井病院	
江戸川病院	健全会土庫病院	
関東中央病院	誠佑記念病院	
榊原記念病院	公立那賀病院	
聖路加国際病院心臓血管センター	新宮市立医療センター	
虎の門病院	しげい病院	
武蔵野赤十字病院	東広島医療センター	
東大和病院	済生会広島病院	
小田原循環器病院	福山循環器病院	
国際親善総合病院	県立広島病院	
横浜栄共済病院	岩国医療センター	

### 医師会 賛助会員

日本医師会
群馬県医師会
埼玉県医師会
東京都医師会
太田市医師会
沼田利根医師会
藤岡多野医師会
前橋市医師会
上尾市医師会
さいたま市与野医師会
狭山市医師会
本庄市児玉郡医師会
葛飾区医師会

## 当財団をご支援くださる方

賛助会員として本年度にご支援いただいた方々のご芳名を掲載させていただきました。

(2019年6月～8月)

相澤 義房 様	小澤 利男 様	栗原 敏 様	武田 信彬 様	東 登志夫 様	山下 武志 様
明石 嘉浩 様	小野 高史 様	小池 城司 様	田中 元直 様	平岡 昌和 様	山 科 章 様
阿古 潤哉 様	小野 稔 様	古賀 義則 様	千田 彰一 様	平田 健一 様	山 村 憲 様
足 達 寿 様	片見 初江 様	小谷 英太郎 様	塚 本 宏 様	平田 恭信 様	家 森 幸男 様
新 博 次 様	加藤 正明 様	児玉 安司 様	辻 幸 臣 様	日和田 邦男 様	弓 削 浩 様
和 泉 徹 様	金丸 憲司 様	後藤 京子 様	堤 健 様	福田 孝太郎 様	横 倉 義武 様
市 川 悦 様	金古 善明 様	小 柳 仁 様	鄭 忠 和 様	藤原 久義 様	渡 邊 英一 様
市田 路子 様	加納 達二 様	近藤 高明 様	外山 淳治 様	古川 佳子 様	
伊藤 隆之 様	辛島 詠士 様	坂田 泰史 様	永井 良三 様	細田 瑳一 様	他匿名10名
伊藤 貞嘉 様	河合 忠一 様	佐田 政隆 様	長澤 一成 様	前村 浩二 様	
井 上 博 様	川崎 雅規 様	佐藤 和徳 様	中田 八洲郎 様	松岡 博昭 様	(五十音順)
上島 弘嗣 様	川島 康生 様	猿田 享男 様	中 野 赳 様	松永 正人 様	
臼田 和生 様	河村 慧四郎 様	白土 邦男 様	中 原 容 様	丸山 幸夫 様	
浦 信 行 様	上松瀬 勝男 様	杉 薫 様	中村 直樹 様	水野 杏一 様	
大内 尉義 様	菊池 健次郎 様	杉澤 和美 様	中村 真潮 様	三田村 秀雄 様	
大川 眞一郎 様	北 畠 顕 様	杉本 恒明 様	西 川 章 様	村田 和彦 様	
大島 文雄 様	木之下 正彦 様	須磨 幸蔵 様	野村 雅則 様	村田 光延 様	
大和田 憲司 様	木村 彰方 様	住吉 昭信 様	橋場 邦武 様	村山 正博 様	
岡島 光治 様	木村 剛 様	高橋 敦男 様	羽田 勝征 様	望 月 茂 様	
岡田 幾太郎 様	楠岡 英雄 様	高本 眞一 様	馬場 俊六 様	百 瀬 満 様	
小 川 聡 様	楠川 禮造 様	高安 徹雄 様	林 輝 美 様	諸井 雅男 様	
奥 野 修 様	久保田 徹 様	高 柳 寛 様	早野 元信 様	矢崎 義雄 様	
尾崎 行男 様	倉林 正彦 様	竹 越 襄 様	東 あかね 様	安井 健二 様	

## 当財団へご寄附をいただいた方

次の方々からご寄附を賜りました。ご芳名を感謝の意を表して掲載させていただきます。

(2019年6月～8月)

(五十音順)

秋山 照代 様	岩村 憲治 様	越智 秀明 様
梶村 貴美子 様	芝田 正広 様	嶋田 裕 様
寺岡 壮 様	花澤 曜聿 様	福田 扶佐子 様
前田 元紀 様	山内 章三 様	
掲載者 計11名	他匿名 8名	

### ■小さなハートをつなぐ基金

下平 達也 様 城山 舞 様

### ■セカンドオピニオンへのご寄附

石井 一葉 様 三上 孝 様

## ご寄附のお願い

日本心臓財団は、循環器病を克服するため、研究助成、予防啓発、さらに循環器病に関する皆様からのメール相談などを行ってまいりました。今後もこのような活動を継続させていただきまますよう、皆様からのご支援をお待ち申し上げております。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

当財団は公益財団法人の認定を受けておりますので、当財団へのご寄附は税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。

また、税額控除に係る証明を取得しておりますので、個人の方からのご寄附につきましては所得控除と税額控除のいずれか一方を選択いただくことができます。

■三井住友銀行 丸ノ内支店  
普通 0801474  
■三菱UFJ銀行 丸の内支店  
普通 4025878  
■ゆうちょ銀行  
一般振替口座 00140-3-173597  
(ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキュー)店  
当座 0173597)  
口座名：公益財団法人 日本心臓財団  
ザイ) ニホンシンゾウザイダン